

SUNRISE

<SUNRISE=太陽が昇る「日の出」と、三中(SUN)の雰囲気がいよいよ上がって(RISE)いよいよとの思いを込めて…>

堺市立三国丘中学校 生徒指導通信 生徒指導部発行 No. 22 2023. 11. 1

心震える楽しい時間でした。。。。

合唱コンクールご苦労様でした。当日の歌声は自分たちの心に響きましたか？少なくとも審査をしていた先生（ナカムラ）には響きました。特に3年生の合唱は上手だけでなく、3年間頑張ってきた姿が伝わり、とても感動しました。当然コンクールなので順位がつきますが、どのクラスの歌にもアジがあり、感動しました。

行事が終わる度に、みなさんの力に感動し、その成長に驚かされます。あの舞台での必死で素晴らしいみなさんの顔が、今も目に焼きついています。「心をひとつに」どの学年も頑張ることができたと思います。これからの学校生活がとても楽しみです。

鑑賞？ 観賞？

文化活動発表会午後の部は舞台発表でした。部活動や学年、教科の発表の時間でしたが、先生（ナカムラ）は受付担当で見ることができませんでした。しかしながら、1・2年生の教室のテレビから聞こえてくる音声で盛り上がっていることは感じました。発表者の皆さん、お疲れさまでした。

午後の部は「みる」人のほうが多かったわけですが、皆さんの「カンショウ態度」はどうでしたか？タイトルでも記載した「鑑賞」と「観賞」、よく似た意味を持つ言葉ですが、意味は少し異なります。

鑑賞・・・芸術作品などを見たり聞いたり読んだりして、それが表現しようとするところをつかみとり、そのよさを味わうこと

観賞・・・物を見て、その美しさや趣などを味わい楽しむこと

一般的に対象の芸術性の有無によって使い分けをされることが多いようです。芸術作品などは何らかの意図を込めて作られているので、単に目や耳で見聞きするのみでなく、その意図を理解しようとしたり見定めたりすることが重要です。そのため、芸術作品の場合は「鑑賞」が使われます。具体的には音楽や舞台、映画などには「鑑賞」が使われます。一方で芸術性などがそれほどなく、単純に目で見えて楽しむといったニュアンスが強い場合は「観賞」を選びます。だから、テレビや景色、自然のものには「観賞」が使われることが多くなります。

芸術作品以外でも「みる」のではなく「理解する、見定める」といったニュアンスが強いものを対象とするのであれば「鑑賞」、そうではないものについては「観賞」と考えることによってより使い分けしやすくなります。

さて、文化活動発表会午後の舞台発表は「鑑賞」・「観賞」、どちらの態度で臨みましたか？あるいは発表の内容によって「鑑賞」と「観賞」を使い分けられましたか？今日こんなことを記載したのは、そのどちらでもない態度の人がいたと聞いているからです。残念なことです。同じ三中生の発表を小馬鹿（こばか）にする人がいる……。想像してみてください。たくさんの人の前で発表する、スピーチする、演じる、その日に向けて練習を重ねる姿。簡単にできることではないし、嘲笑（あざわら）っていいものではありません。それぞれの生徒がそれぞれの分野で力を発揮し、それを認めあえる場を全員で作ってほしいと思います。

一流の演者が名演と呼ばれる舞台やコンサートを作り上げるには一流の観客がいるそうです。スポーツ界も同じで観客の有無や質でパフォーマンスに差が出るそうです。どのレベルにいても「みる」人の大切さは変わらないと思います。一流の観客としての振る舞いができる三中生・集団になってくれることを願っています。

8：25登校キャンペーンにご協力を！！朝の余裕が一日の落ち着きに！